

高口光子の



2026年度

元気が出る介護塾

全10回!



「よい介護」は一瞬一瞬の積み重ねです。現実には手ごわいので、たえず確認し伝え続けていなければ、「よい介護」を守り続けることはできません。だから、働く職場の仲間と一緒にセミナーに参加して「人を思う気持ち」「よい介護」を再確認して共有することが必要なのです。介護塾では仕事としての介護のために、職場で伝わる言葉・文章・図表をテーマ別に資料として示し、録画で配信します。目で耳で何度でも、確認してください。

伝わらない「思い」は、ないのと同じです。

でも、言葉が通じて、思いが共有できて、よい介護の方向性が重なる職員がういければ、職場は変えられます。

高口光子

プロフィール

高口光子 (たかぐち・みつこ)

介護アドバイザー

理学療法士・介護福祉士・介護支援専門員

老人病院に理学療法士として勤務後、特養ホーム、老人保健施設など老人ケアの現場を経て2022年独立、フリーの介護アドバイザーに。40年余にわたる現場での経験を体系立てた「元気が出る介護塾」をメインに、介護現場を元気にするため、八面六臂の活躍中。NHKテレビ出演のほか、著書多数。

高口光子の元気がでる介護研究所
<https://genki-kaigo.net/>



●開催日：2026年5月～2027年2月
(毎月1回開催)

●受講方法：オンライン
(テキスト付＋録画配信あり)

●対象：介護現場に関わる専門職

●受講料：各回 6,000 円 (税込)
・全10回前納一括払い：57,000 円 (税込)
(ブリコラージュ読者：55,000 円 (税込))
・施設でお申込みの団体割引：1施設 150,000 円 (税込)

※ 団体割引：受講者の数に関係なく受講できる1施設あたりの金額です。

3人以上で受講する場合は、こちらが断然お得です。

職場の研修としてご利用ください。

※ 同一法人で複数施設がある場合は、施設数分のお申込みが必要です。

※ 終了した講座は録画で一定期間受講することができます。

●申込先：有限会社七七舎^{ななしや}

・ホームページから▶

七七舎 介護塾

検索

・FAX ▶ 03-5986-1776

●問合せ先：有限会社七七舎

・TEL ▶ 03-5986-1777

・E-mail ▶ info@nanasha.co.jp

早期
割引



2026年2月末までに
全10回をお申込みの方は
2,000円割引!
団体申込みは
5,000円割引!
お早めにお申込みを!

高口光子の元気が出る「介護塾」受講申込書 FAX 03-5986-1776 (七七舎宛)

必要事項をご記入のうえ、このまま FAX 送信してください

フリガナ	TEL
お名前	
ご住所 〒	FAX
※自宅または職場に○をつけてください→ <input type="radio"/> 自宅 <input type="radio"/> 職場	
※職場の場合は、必ず施設名まで明記してください	E-mail
受講回に○をつけてください	@
全10回・1講・2講・3講・4講・5講・6講・7講・8講・9講・10講	ブリコラージュ 読者ですか?
	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

※E-mailアドレスで混同しやすい数字の0(ゼロ)とO(オー)、-(ハイフン)と_(アンダーバー)など特に注意してご記入願います。

介護施設の
法定研修対応

認知症ケア
身体拘束廃止
ターミナルケア
高齢者虐待防止
など

プログラム

● 時間：13:00～16:30

● 全講義テキスト付（郵送）

全講義で
認知症ケア
専門士3単位
取得できます

第1講

5/27^水

介護現場のコミュニケーションⅠ

◆何のための仕事（ケア）か、言葉で共有できていますか ◆どうして私たちは認知症の人に振り回されてしまうのか？ ◆出勤したくない職場～共依存をとらえよう ◆生活モデルとは何か？

第2講

6/24^水

介護現場のコミュニケーションⅡ

◆看護・介護・リハ・栄養・事務・相談に、もっと伝わるコミュニケーション ◆上司・部下・同僚とのコミュニケーション ◆多職種で認知症の人を中心にしたチームケア体制をつくる

第3講

7/29^水

認知症ケアを見直そう！

◆行動・心理症状と問題のあるケア ◆認知症ケアが「上手な人」と「下手な人」との違いを考える ◆介護は「重い・汚い・わからない」に挑む ◆うまくいったは、おとなしくさせること？

第4講

8/26^水

不適切ケアと身体拘束廃止

◆不適切ケアの実際を職場で共有する ◆認知症の人への不適切ケアが注意できるからこそ充実する職場のつくり方

第5講

9/25^金

こうすればできる身体拘束廃止

◆ついついやってしまう「不適切ケア」を考える～身体拘束が始まる時 ◆「私たちは縛りたくない」と意志を持つために ◆「認知症の人は縛らないと転びますよ」に本気で向き合う

第6講

10/28^水

施設・チームで取り組む虐待防止

◆私たちに「介護ストレス」が発生する構図を知る ◆虐待防止でやるべきこと ◆虐待が発生した時にまずやること ◆その認知症の人のケアが虐待になっていないか振り返ろう

第7講

11/25^水

家族からのカスタマーハラスメントをどうする

◆クレーム・苦情をトラブルにしない ◆カスタハラとは何か（厚労省：ガイドライン、ハラスメント対応マニュアル） ◆具体事例紹介（動画）

第8講

12/23^水

生活支援の場のターミナルケア

◆生活支援の場のターミナルケアの仕組みづくり ◆多職種連携、それぞれの役割分担 ◆自分の意思を伝えきれない認知症の人の望まれる最期を考える

第9講

1/13^水

「人手不足」にどう取り組むか

◆足りないのは人材ですか？ 人数ですか？ ◆認知症の人から学び、成長するチームと環境づくり ◆悪い職員の見極めと指導法（見切り・決断・タイミング）

第10講

2/10^水

新人の育て方とチームづくり

◆「何人雇っても辞めていく」その原因は？ ◆新人・新入職職員の育成ポイント ◆認知症ケアを苦手にならない新人育成 ◆プリセプターシップの導入～指導・評価まで